

JAMS の新しい運営体制について

運営委員長 西尾寛治

日本マレーシア研究会(Japan Association for Malaysian Studies、JAMS)は、マレーシアおよびその近隣地域の研究を目的に 1992 年に設立されました。現在、国内在住の研究者を中心に約 190 名の会員が所属しています。

JAMS は、

- ◇国際レベルで参照されるマレーシア研究の最前線研究者の育成
- ◇海外地区活動を含む多種多様な連携研究会を結ぶネットワーク作り
- ◇国内の学会・研究会や研究プロジェクトをつなぐ研究連携
- ◇実務家の視点を取り入れた研究と社会の橋渡しを進める社会連携
- ◇自然災害対応などにおける研究活動を通じた社会への実践的貢献
- ◇ウェブサイトや会報『JAMS News』を通じた会員や社会への発信

など、マレーシア研究を軸に、幅広い活動を行っています。

過去 2 年間の JAMS は、鈴木陽一前運営委員長の手堅い運営により、着実に安定した研究会活動が展開されてきました。その後を引き継いで発足した 2008/09～2009/10 年度の新体制では、次の 5 つを JAMS の運営方針として、その実現化に努力を傾注してまいりたいと存じます。

(1)ウェブサイトや会報『JAMS News』を通じ

た情報発信を強化する

(2)関連する諸学会・研究会や研究プロジェクトとの連携を強化する

(3)既存の研究機関などに所属しないで研究活動を展開している、いわゆる市民研究者や実務家との連携強化を通じ、新たな研究の可能性を模索する

(4)JAMS を母体とした研究プロジェクトの企画・実施の可能性について模索・検討する

(5)懸案となっていた「JAMS の学会化」問題を本格的に検討する

これらの 5 つの目標を達成するため、今期の運営委員会では、事務局のほか、運営委員会内にそれぞれ以下の局、連携ウイング、ワーキンググループ(WG)を設置しました。

1. 広報局
2. 研究連携ウイング
3. 社会連携ウイング
4. 研究プロジェクト構想 WG
5. 学会化検討 WG

以上のように、今期は、いくつかの大胆な改革を通して JAMS の再活性化を試みる 2 年間となります。その実行のため、会員の皆様にご支援ならびにご協力をお願いすることも多かろうと存じます。その点をご理解いただき、運営委員からの要請を受けられました際には、何卒旧に倍したご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

研究連携ウイング

現在、マレーシアやその近隣地域を研究対象とする学会・研究会や研究プロジェクトは少なくありません。ときには同じ日に別の会場で似たようなテーマの研究会が開催されることもあります。それが相互の連絡不足によって生じているとしたらそのような事態を防ぎ、学会・研究会や研究プロジェクトどうしの交流を促進するため、JAMS では「研究連携ウイング」を設置しました。

研究連携ウイングは、学会・研究会や研究プロジェクトなどの研究グループの代表者(幹事、世話役、大会担当者など)が集まり、

- (1)大会や研究会の日程が重複しないように企画段階から情報交換を行う場
 - (2)研究会を企画する上で適切な報告者を探す情報交換を行う場
 - (3)共同で研究会を企画する場
- となることを目指して運営されています。

現在、JAMS 研究連携ウイングには以下の研究グループの関係者が参加しています。

JAMS 運営委員

- －大会担当委員
- －関東地区委員
- －関西地区委員

JAMS 連携研究会の世話人

- －日本マレー世界研究会
- －関西マレー世界研究会
- －クアラルンプール地区研究会

学会・研究会の大会・地区例会担当者

研究プロジェクト代表者

JAMS の活動に関連する研究グループで連携研究ウイングへの参加を希望するグループがありましたら、研究グループ代表者より JAMS 事

務局までご連絡ください。

【担当委員】

金子芳樹(ウイング長/大会担当/アジア政経学会)

弘末雅士(関東地区担当/東南アジア学会)

山本博之(関西地区担当/関西マレー世界研究会)

西尾寛治*(日本マレー世界研究会)

西芳実*(日本マレー世界研究会)

河野元子*(関西マレー世界研究会)

辻修次*(クアラルンプール地区研究会)

(*は外部委員)

社会連携ウイング

今日、研究者コミュニティは多様化しています。既存の学問的ディシプリンを身につけて教育・研究機関に身を置く「機関研究者」や、家庭人、企業退職者、外交や援助の実務家などの「市民研究者」など、多種多様な研究者がさまざまな研究活動を行い、それぞれの分野で業績を上げています。

JAMS では、このような幅広い研究者の協働によって、多様化する研究者コミュニティの知識や経験を学問的ディシプリンの中に取り上げ、それらを緩やかに学術研究の成果として結実させることができ、同時に、そのようにして得られた学術研究の成果を効果的に社会に還元することができるものと考えています。また、「機関研究者」と「市民研究者」との交流を促進することで、双方の研究者による研究のさらなる活性化を促すことになると考えています。

このことは、大学が教育拠点としての位置づけを増している今日において、大学等の教育・研

究機関では十分に取り込めない多様な研究者を学界に取り込むことにつながり、地域研究の新たな方法論を切り拓くことに加え、研究拠点としての学会・研究会の充実化などにも寄与するところが大きいと考えます。

社会連携ウイングでは、担当する運営委員のほかに多様な背景を持つ外部委員から構成され、「機関研究者」と「市民研究者」との間で研究や発表の方法に対して考え方やニーズがどのように異なっているのか、どの程度であれば両者が相互に受け入れ可能な形となるのか、などの点を、実際の研究活動を通じて検討します。あわせて、大学等の教育・研究機関が集中する大都市圏以外で教育・研究活動をどのようにして活性化できるのかという課題などについても積極的に取り組みます。

【担当委員】

川端隆史(ウイング長)

篠崎香織

西尾寛治

山本博之

新井和広*

井口由布*

楯沢英雄*

伴美喜子*

見市建*

(*は外部委員)

研究プロジェクト構想 WG

JAMS にはマレーシアおよびその近隣地域を研究する会員が多数集まっていますが、それらの会員をどのように結びつけば学問上も社会的にも意義のある研究テーマが浮かび上がって

くるか、そしてそれを実現するためにはどのような形で研究組織を作り上げるかなどの課題を検討し、実施するのがこの WG の役割です。

今年度は、試行として、社会連携ウイングと連携して「公共領域としての地域研究の可能性: 東南アジア海域世界における福祉の展開を事例として」というテーマで研究会を行います。この研究会は JAMS 関西例会として行います。

【担当委員】

山本博之(座長)

西尾寛治

学会化検討 WG

JAMS では、鈴木陽一前運営委員長のもと、学会化が検討されてきました。JAMS は、会員数約 190 名、会費納入率 80%以上であり、規約にしたがって運営され、年に 1 回の研究大会・会員総会を実施し、そのほかに関東・関西で地区活動を行い、年間 3 回の会報を発行しています。これはすでに実質的に学会であると言ってよく、JAMS は学会化の方向に向かうべきであるというのが前期運営委員会から今期運営委員会が引き継いだ課題です。

すでに学会に相当する活動を行っているため、学会化に伴って運営のための負担が特に増すとは考えられません。JAMS が社会において応分の発言力を持つうえで必要な負担が増す可能性はありますが、その負担は JAMS を通じた発信を行うためには当然引き受けるべき負担であり、学会化とは直接関係ないものであると考えます。

しかし、法人化、学会誌、会の名称など、学会化を検討するにあたって考えなければならない課題がいくつかあります。学会化検討 WG では

上記の問題を含めて JAMS の学会化について検討します。

【担当委員】

金子芳樹(座長)
西尾寛治
山本博之

広報局

JAMS の具体的な活動の 3 つの柱は、大会・研究会、会報『JAMSNews』、ウェブサイト(ホームページ)です。これらはいずれも、会員どうし、会員と学界、会員と社会を結ぶ場を提供するものです。会員、学界、社会を互いに結びつけることに JAMS の活動の意義があることをよく示しています。

この 3 つの柱のうち、広報に関わる会報『JAMS News』とウェブサイトを担当するために新設されたのが広報局です。今期は、ウェブサイトの定期的な更新および内容の充実、『JAMS News』とウェブサイトの連動などを通じて、JAMS の発信力をさらに高めて生きたいと考えています。

広報局へのご連絡は、広報局メールアドレス(journal_web@jams92.sakura.ne.jp)までメールでお寄せください。

【担当委員】

山本博之(広報局長)
新井和広(ウェブサイト担当)
西芳実(会報担当)

事務局

会計や会員情報をはじめ、JAMS の活動を支える業務を担当します。入会・退会、会員情報の

変更、会員用メーリングリストなどについては事務局までお問い合わせください。

事務局へのご連絡は、事務局メールアドレス(secretariat@jams92.sakura.ne.jp)までメールでお寄せください。

【担当委員】

山本博之(事務局長)
金子芳樹(渉外担当)
西芳実(総務担当)
西尾寛治(総務担当)
坪井祐司(会計担当)
篠崎香織(会員情報担当)

JAMS 事務局・広報局の連絡先

日本マレーシア研究会(JAMS)事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46
京都大学地域研究統合情報センター 山本博之研究室

事務局メールアドレス:

secretariat@jams92.sakura.ne.jp

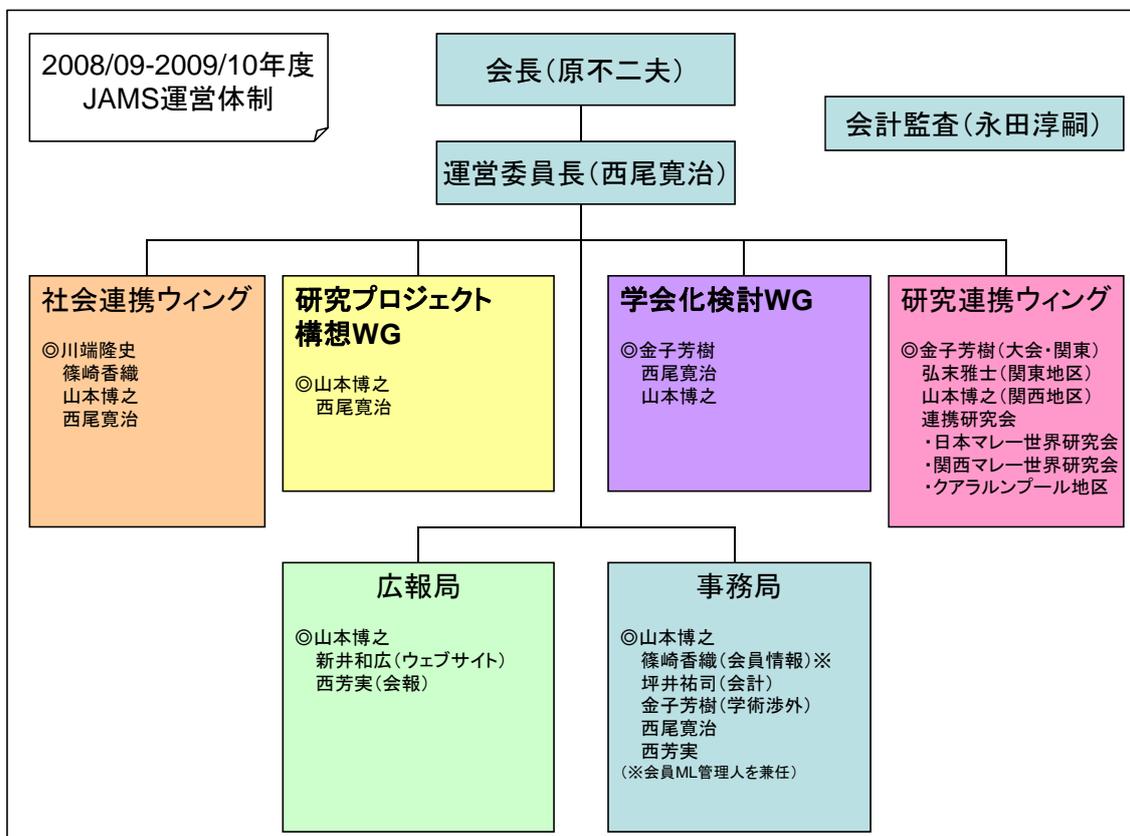
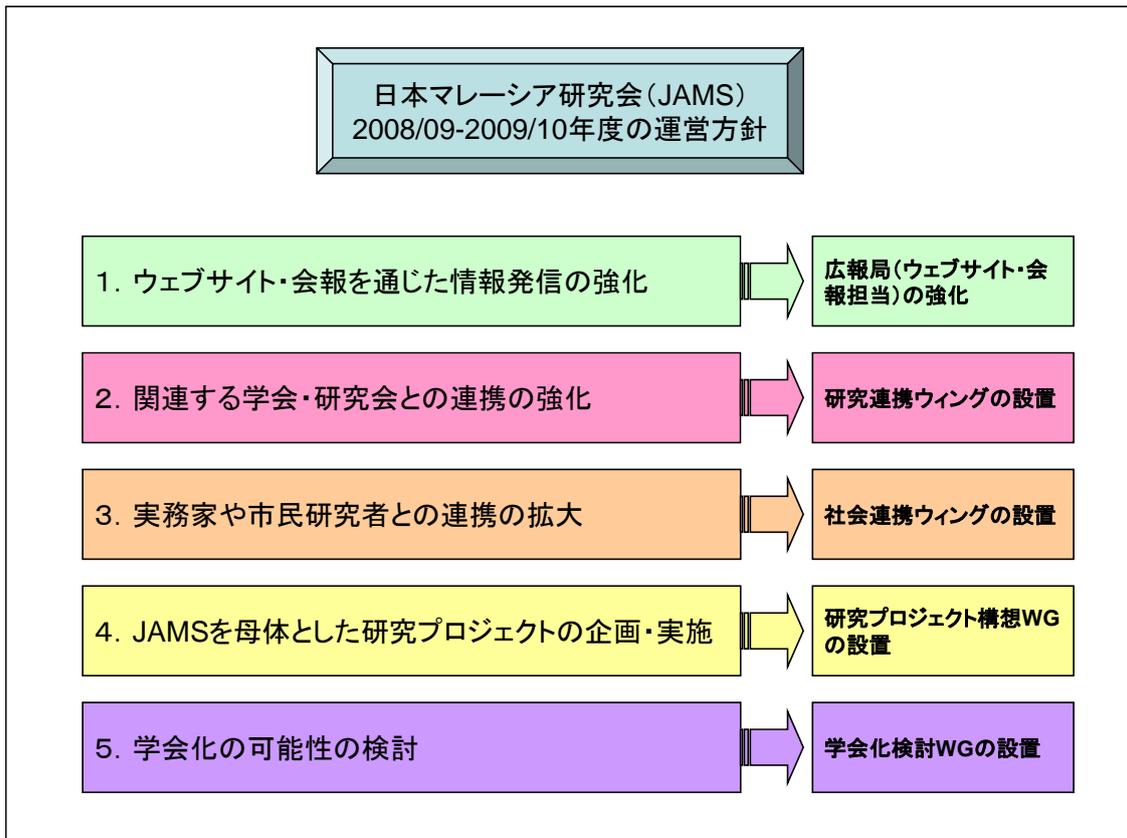
(会員情報や会費納入を含む一般的な運営に関する問い合わせは事務局までお寄せください。)

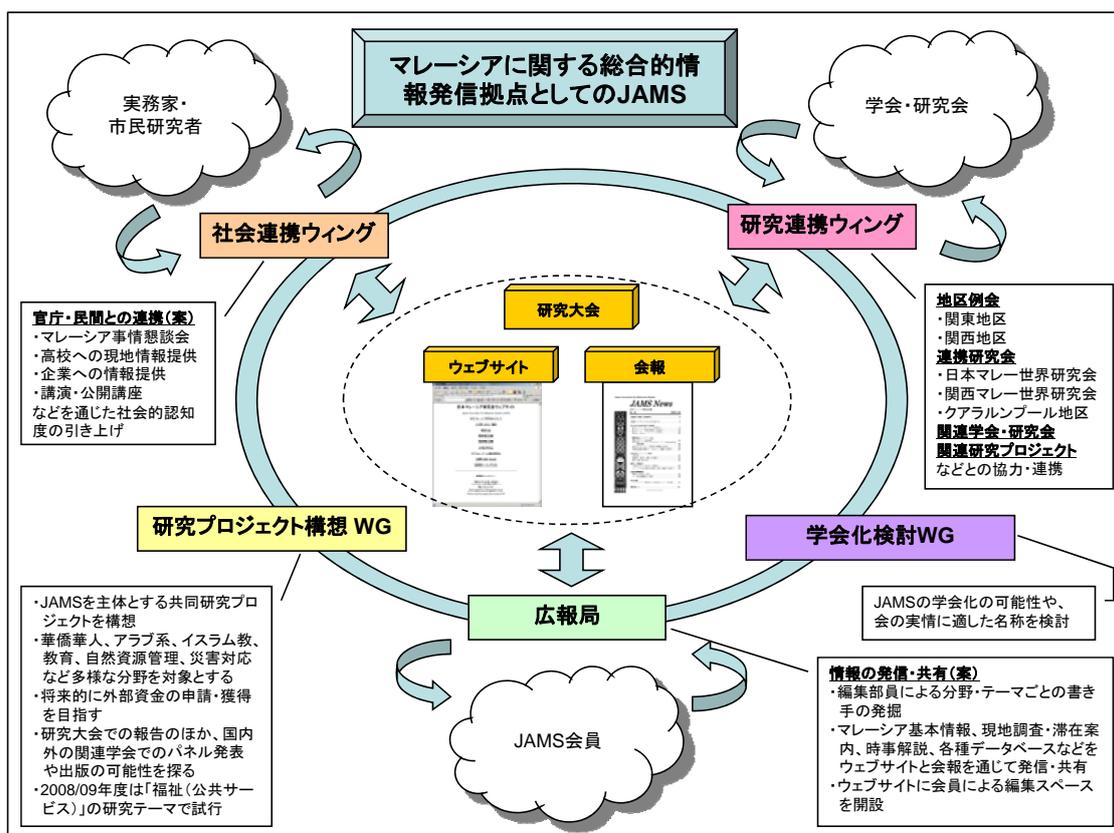
広報局メールアドレス:

journal_web@jams92.sakura.ne.jp

(投稿など、会報やウェブサイトに関するお問い合わせは広報局までお寄せください。)

JAMS ウェブサイト: <http://jams92.org/>





2008/09-2009/10年度の運営体制

- 会長: 原不二夫
- 運営委員長: 西尾寛治
- 事務局
 山本博之(事務局長)、西尾寛治(総務)、金子芳樹(大会・学術渉外)、西芳実(総務)、坪井祐司(会計)、篠崎香織(会員情報・ML管理)
- 広報局
 山本博之(広報局長)、新井和広(ウェブサイト)、西芳実(会報)
- 社会連携ウイング
 川端隆史(ウイング長)、篠崎香織、西尾寛治、山本博之
- 研究連携ウイング
 金子芳樹(ウイング長、大会・関東地区)、弘末雅士(関東地区)、山本博之(関西地区)
- 会計監査: 永田淳嗣
- ◇連携研究会
 - ・日本マレー世界研究会
 - ・関西マレー世界研究会
 - ・クアラルンプール地区研究会